

【今より2時間早く帰ろう！】
～英語教員のための業務効率化
Multi Tips～

兵庫県立宝塚西高等学校
英語科教諭 上本 善之
yoshiyuki.u07@gmail.com

業務効率化を推し進める理由

- ① 教職のブラック化 & 民間のホワイト化
- ② 優秀な人材の民間流出
- ③ 低下し続ける教員採用試験倍率
- ④ 教育サービスの質の低下
- ⑤ 子ども達へシワ寄せが行く

「決められた時間」で
「どれだけの成果が出せるか」

ROE (Return On Equity) の考え方

⇒ 「自己資本利益率」

投下された資本に対してどれだけ効率的
に利益を上げられているか



Do more with less

限られた時間の中で

より多くの成果を残す

業務効率化「3つ」のアプローチ

A) 生徒を自律させる

B) 自分を効率化する

C) 環境をととのえる

A)-① AI添削で勝手に上達

- 「生徒自身」がAIを使って自分の英作文を添削する
- 教員の負担軽減
- 生徒にAIの使い方を学ばせる

AI添削活動のプロセス

- ① テストの課題を発表
- ② 課題に対する作文を自分で準備
⇒AIを使って英文を準備しても良い
- ③ 覚える
⇒正しい英文を記憶して英語力向上を狙う
- ④ 授業で15分でテスト
- ⑤ 教師がルーブリックで評価
- ⑥ 返却されたものをAIで添削
- ⑦ AIのアドバイスを読んで反省を□イ□
ノートで提出

テストの課題を発表

「もし日本語と同じように英語が自由に話せるとしたら、何に挑戦したいですか？その理由とその挑戦がどのように自分を変えるのかについて、40語以上の英語で述べなさい。」

活動のプロセス

- ① テストの課題を発表
- ② 課題に対する作文を自分で準備
⇒AIを使って英文を準備しても良い
- ③ 覚える
⇒正しい英文を記憶して英語力向上を狙う
- ④ 授業で15分でテスト
- ⑤ 教師がルーブリックで評価
- ⑥ 返却されたものをAIで添削
- ⑦ AIのアドバイスを読んで反省を□イ□
ノートで提出

もし日本語と同じように英語が自由に話せるとしたら、何に挑戦したいですか？ その理由とその挑戦がどのように自分を変えるのかについて40語以上の英語で述べなさい。

※記入上の注意点

- ① 空欄には、1マスにつき必ず1語のみを記入すること。
- ② ピリオドやカンマなどの記号は、単語と一緒に1つの空欄にまとめて記入すること。
(指示に従っていない場合は、合計点から2点減点する)

Writing Test 解答用紙

記入例:

I	said,	"Are	you	all	right?"	However,	she
---	-------	------	-----	-----	---------	----------	-----

8							
16							
24							
32							
40							
48							
56							
64							
72							
80							
88							
96							
104							
112							
120							
128							
136							
144							
152							
160							

文章量	内容	文法・スペルなど	表現
5 120語以上	5	5	5
3 80語以上	3	3	3
1 40語以上	1	1	1
0 39語以下	0	0	0

合計	
	/20

採点用ルーブリック

1年()組()番 氏名()

テスト用紙の サンプル

文章量のカウント
をしやすいように、
マス目に1語ずつ
書くように指示。
(改行はしない)

活動のプロセス

- ① テストの課題を発表
- ② 課題に対する作文を自分で準備
⇒AIを使って英文を準備しても良い
- ③ 覚える
⇒正しい英文を記憶して英語力向上を狙う
- ④ 授業で15分でテスト
- ⑤ 教師がルーズブリックで評価
- ⑥ 返却されたものをAIで添削
- ⑦ AIのアドバイスを読んで反省を□イ□
ノートで提出

評価基準①

★文章量

- 0点 40語未満 (※評価項目②と③も0点、④は1点)
- 1点 40語以上
- 3点 80語以上
- 5点 120語以上

★内容

- 0点 言いたいことが読み取れない
- 1点 「理由」も「どう自分を変えるか」も不明瞭
- 3点 「理由」と「どう自分を変えるか」のうち、
どちらかが不明瞭
- 5点 「理由」と「どう自分を変えるか」の両方が
しっかり書けている

評価基準②

★文法・スペルなど

- 0点 言いたいことが読み取れない
- 1点 ミスが多く、読解に難がある
- 3点 ミスはあるが何とか読むことができる
- 5点 ほとんどミスが無く、とても読みやすい

★表現

- 1点 稚拙な表現にとどまっている
- 3点 習った文法・表現を使おうとする努力が見える
- 5点 様々な文法・用語を使用しており、
表現に多様性がある

生徒のサンプル

8	If	I	can	speak,	I	would	like	to
16	enjoy	reading	English	books,	watching	English	movies	and
24	singing	English	songs.	I	will	be	able	to
32	understand	different	culture	for	them.	It	also	I
40	can	learn	more	English	words	so,	I	speak
48	English	better.	Speaking	English	better	is	good	for
56	me	because	I	can	choose	a	lot	of
64	jobs	future	and	I	can	go	to	travel
72	for	some	countries.	The				
80								
88								
96								
104								
112								
120								
128								
136								
144								
152								
160								

文章量	内容	文法・スペルなど	表現
5 120語以上	5	5	5
3 80語以上	3	3	3
1 40語以上	1	1	1
0 39語以下	0	0	

合計
8 /20

活動のプロセス

- ① テストの課題を発表
- ② 課題に対する作文を自分で準備
⇒AIを使って英文を準備しても良い
- ③ 覚える
⇒正しい英文を記憶して英語力向上を狙う
- ④ 授業で15分でテスト
- ⑤ 教師がルーブリックで評価
- ⑥ 返却されたものをAIで添削
- ⑦ AIのアドバイスを読んで反省を□イ□
ノートで提出

生成AIに入力するプロンプト

1. 以下の指示文をChat GPTにコピーして、「以下英文：」のコロン以降にパフォーマンステストで書いた英文を打ち込む。
2. 出力された回答に目を通し、自分のミスの特長やフィードバックを確認する。
3. 出力された回答画面を全てスクリーンショットで撮影し、このカードの2枚目の「ふりかえりシート」を記入して、「ふりかえりシート」⇒「スクリーンショット」の順番でカードを連結してロイロで提出する。
4. 提出期限：2月19日（水）8：30 （※論表の課題提出点に入ります）

あなたは高校の英語教師です。「もし日本語と同じように英語が自由に話せるとしたら何に挑戦したいですか？その理由、及びその挑戦がどのように自分を変えるのかについて英語で述べなさい」というテーマで高校生が作成した英文エッセイを添削します。以下のポイントに留意して、英文の添削を行ってください。

- ①元の原稿を極力活かした状態で文法やスペル等の誤りを修正する
- ②修正した箇所をリストアップして、なぜその部分を修正したのか一つずつ解説する
- ③エッセイ全体を通したその生徒の文法的な誤りにどのような特徴があるか分析し、今後の学習時に何に留意すればよいか解説する
- ④英文の内容や構成そのものに対するジェネラルなフィードバックを行う

以下英文：

生徒のサンプル

If I can speak, I would like to enjoy reading English books, watching English movies and singing English songs. I will be able to understand different culture for them. It also I can learn more English words so, I speak English better. Speaking English better is good for me because I can choose a lot of jods future and I can go to travel for some countries.

AIの添削



ChatGPT >



あなたは高校の英語教師です。「もし日本語と同じように英語が自由に話せるとしたら何に挑戦したいですか？その理由、及びその挑戦がどのように自分を変えるのかについて英語で述べなさい」というテーマで高校生が作成した英文エッセイを添削します。以下のポイントに留意して、英文の添削を行ってください。

- ① 元の原稿を極力活かした状態で文法やスペル等の誤りを修正する
- ② 修正した箇所をリストアップして、なぜその部分を修正したのか一つずつ解説する
- ③ エッセイ全体を通したその生徒の文法的な誤りにどのような特徴があるか分析し、今後の学習時に何に留意すればよいか解説する
- ④ 英文の内容や構成そのものに対するジェネラルなフィードバックを行う

以下英文：If I can speak, I would like to enjoy reading English books, watching English movies and singing English songs. I will be able to understand different culture for them. It also I can learn more English words so , I speak English better. Speaking English better is good for me because I can choose a lot of jods future and I can go to travel for some counturies.

① 修正後の英文（原文を極力活かした形での修正）

If I could speak English as freely as Japanese, I would like to enjoy reading English books, watching English movies, and singing English songs. I would be able to understand different cultures through them. Also, I could learn more English words, so I would be able to speak English better. Speaking English better would be good for me because I could choose from a lot of jobs in the future, and I could travel to some countries.

AIの添削①

① 修正後の英文（原文を極力活かした形での修正）

If I could speak English as freely as Japanese, I would like to enjoy reading English books, watching English movies, and singing English songs. I would be able to understand different cultures through them. Also, I could learn more English words, so I would be able to speak English better. Speaking English better would be good for me because I could choose from a lot of jobs in the future, and I could travel to some countries.

AIの添削②

② 修正箇所と解説

1. "If I can speak" → "If I could speak"

- ・ 仮定法過去を使うべき文脈です。「もし英語を自由に話せたら」という現実にはまだない仮定を表しています。仮定法では、現在の非現実的な状況を表すために過去形を使います。

2. "I will be able to" → "I would be able to"

- ・ 仮定法過去の条件に続く文なので、助動詞も仮定法の形に合わせて「would」を使います。

3. "understand different culture" → "understand different cultures"

- ・ 「culture」は数えられる名詞であり、「さまざまな文化」という意味では複数形 "cultures" が適切です。

4. "It also I can learn" → "Also, I could learn"

- ・ 「It」は文脈上不要です。また、仮定法過去の条件に合わせて「could」に統一しました。さらに、「Also」は文頭に置くことでつながりがスムーズになります。

AIの添削③

5. **"so , I speak English better" → "so I would be able to speak English better"**
 - 仮定法の流れを維持するために「would be able to」を使用。カンマの位置も修正しました。
6. **"Speaking English better is good for me" → "Speaking English better would be good for me"**
 - 仮定法の話なので、ここも「would」を使って仮定の状況を示します。
7. **"choose a lot of jods future" → "choose from a lot of jobs in the future"**
 - "jods" はスペルミスで、正しくは "jobs"。"choose from" は「たくさんの選択肢から選ぶ」という意味で自然な表現です。"in the future" も正しい形です。
8. **"go to travel for some counturies" → "travel to some countries"**
 - "go to travel" は冗長なので、"travel" のみで十分です。"for" ではなく "to" を使い、目的地を示します。"counturies" はスペルミスで、正しくは "countries"。

AIの添削④

③ 文法的な誤りの特徴と学習時の留意点

・ 仮定法の使い方の理解不足

現在の事実と異なる仮定を述べる際には「仮定法過去 (If + 過去形, 主語 + would/could/might + 動詞の原形)」を使います。仮定法を正確に使えるように、特に "would" や "could" の使い方を意識しましょう。

・ 数えられる名詞と数えられない名詞の使い分け

"culture" や "job" など、数えられるものは複数形を使う必要があります。数えられる名詞・数えられない名詞の区別を練習しましょう。

・ スペルミス

"jobs"、"countries" などの基本単語のスペルミスが見られました。単語の正確な綴りを確認し、書くときにも気をつける習慣をつけましょう。

・ 前置詞の使い方

"travel to" や "choose from" のように、動詞と一緒に使われる前置詞を正しく覚えましょう。よく使われる動詞と前置詞の組み合わせをリストアップして練習するのも効果的です。

AIの添削⑤

④ 内容・構成に対するフィードバック

・ 内容について

自分が英語を話せるようになったときの夢や希望がしっかり書かれていて、とても良いと思います。英語の本や映画、歌に親しむことで文化を理解し、語彙力をつけるという視点も具体的に説得力があります。さらに、将来の仕事や海外旅行についても触れているため、自分の未来の可能性を広げたいという気持ちがよく伝わります。

・ 構成について

「英語を話せるようになったらやりたいこと」→「その理由」→「その挑戦が自分に与える影響」という流れがしっかりしていて読みやすいです。ただ、もう少し具体例を加えるとさらに良くなります。例えば、「どんな英語の本を読みたいか」「どんな国を旅行したいか」など、具体的なイメージを入れると、より豊かな内容になります。

・ 提案

最後の部分を少し膨らませて、「英語を話せることで、自分の世界がどのように広がるか」をもう少し深く考えて書くと、さらに印象的なエッセイになると思います。例えば、「海外の友達を作る」「留学する」「国際的な仕事をする」といった具体的な夢を加えてみてはどうでしょうか？

全体的に、英語を使った夢や希望がしっかり伝わる素晴らしいエッセイでした。文法や語彙にもう少し注意を払えば、さらに正確で自然な英語が書けるようになると思います。これからもたくさん英語に触れて、自分の考えをどんどん表現していきましょう！

生徒の振り返り

エッセイライティングふりかえりシート

① ChatGPTのフィードバックを読んで気づいた自分の「クセ」

単語の誤りや前置詞の誤りなどの覚えるところを覚えられていないことが分かりました。他にはEnglish、canといった簡単な単語を何度も使っていることも文を読み直して分かりました。文法的な誤りについては仮定法を理解できていませんでした。特に仮定法過去をもう一度勉強し直す必要があると思います。

② 今後に向けての「意気込み」

今回は前のライティングテストの時よりも対策をせずに行ってしまったので点数が大幅に落ちてしまいました。部活の朝練とかぶっていて朝に勉強することができないので家でする時間を増やそうと思います。論表の課題も簡単な文法ばかりを使っているなかなか難しいことは定着できていないので2年生からは意識して文章を書こうと思います。

活動のアップデート

- ①パフォーマンステスト用紙をカメラで撮影する。
(ほぼ真上から、なるべく影などが入らないように綺麗に撮影してください)
- ②画像の余計な部分を編集で取り払い、ChatGPTのチャットボックスの「+」マークを押して画像を選択する。
- ③画像とともに、以下のプロンプトをはりつけて送信する。
- ④出力されたテキストと自分の元の原稿を見比べて、オリジナルと異なっている部分があれば修正する。
- ⑤1枚目の添削プロンプトを貼り付けて、最後にテキストを貼り付けて送信する。(あとはいつもと同じ)

この画像の「枠で囲まれた部分の文字」だけを、左上→右→下の順に読み取り、1つの段落にまとめて出力してください。

厳守ルール：

- ・スペルや文法の誤り、句読点の有無・位置、大文字小文字、記号の形（, . ? ! ' - など）を一切直さず、そのまま写す。
- ・枠外（説明文・採点・氏名・注意書きなど）は完全に無視する。
- ・改行は段落化のために空白1つへ置換するが、**記号の前後の空白の有無は原文どおり**に保つ。
- ・画像内の「.」ピリオドや「,」カンマの記号に見落としががないかよく確認する。
- ・読み取りに自信がない文字があっても推測で補わない。読めない場合はその箇所だけ「[[unclear]]」と書く（他は絶対に直さない）。
- ・出力は段落1つのみ（余計な記号・「|」・行番号・解説は一切付けない）。
- ・全てを出力した後、元の画像と照らし合わせ、再度原文と異なっている部分がないか確認する。

8	I	think	the	most	important	for	leader	is
16	communication	A	good	leader	speaks	their	thoughts	carefully
24	to	listen	And	they	can	understand	everyone's	opinions
32	A	leader	should	not	be	one-side	They	
40	must	listen	many	opinions	When	I	was	culture
48	committee	I	hard	speak	about	my	thought	in
56	front	of	everyone	When	I	did	good	job
64	with	a	member	of	culture	committee	And	we
72	won	school	festival	We	got	gold	prize	We
80	so	happy	then	I	remember	school	festival	then
88	leader	is	very	important	but	everyone	help	for
96	leader	because	I	think	the	most	important	for
104	leader	is	communication					
112								

95%以上の精度でかなり判別が難しい文字も正確にテキスト化できている。

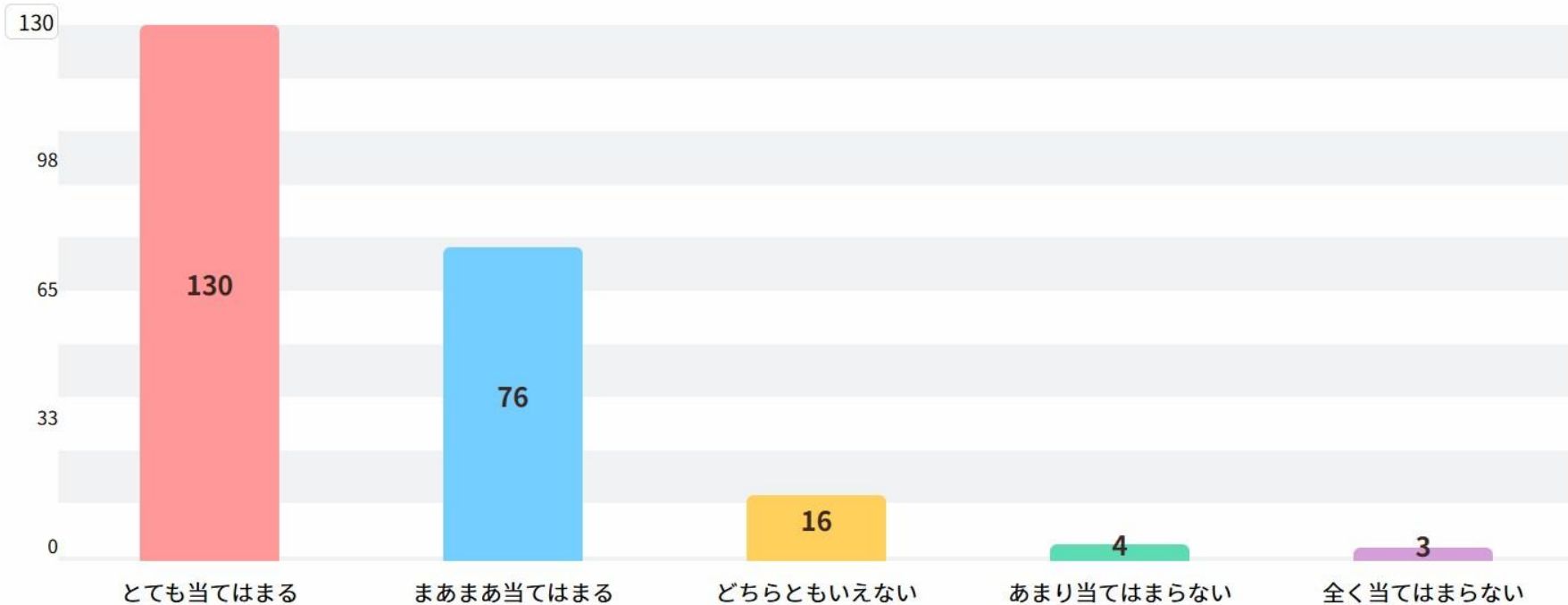
ただし、スペルミスについては、「直すな」と指示しても直してしまう傾向にある。

I think the most important for leader is communication. A good leader speaks their thoughts carefully to listen. And they can understand everyone opinions. A leader should not be one-side. They must listen many opinions. When I was culture committee I had speak about my thought in front of everyone. I did good job with a member of culture committee. And We won school festival. We got gold prize. We so happy then I remember school festival then leader is very important but everyone help for leader. Because I think the most important for leader is communication.

生徒アンケート

Q1 ChatGPTを使った英文添削は役に立ちましたか？

棒グラフ 円グラフ

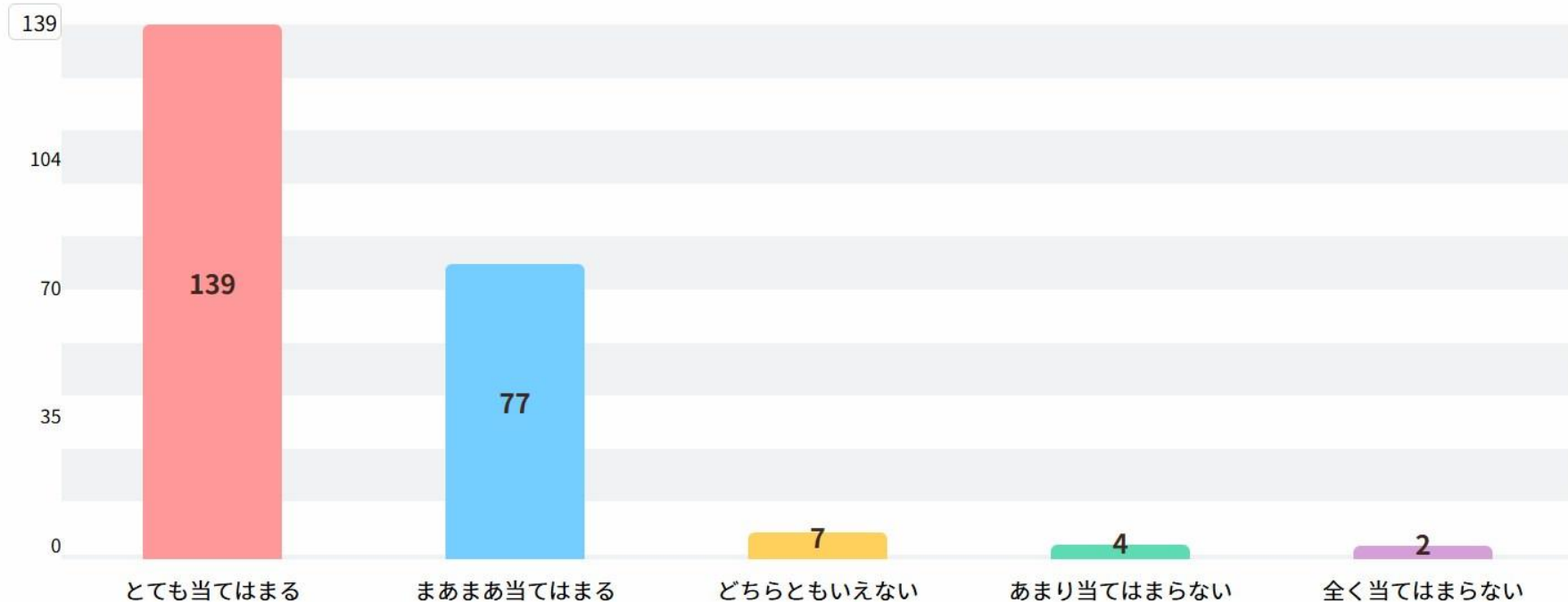


回答者数 229

生徒アンケート

Q2 ChatGPTのフィードバックは分かりやすかったですか？

棒グラフ 円グラフ

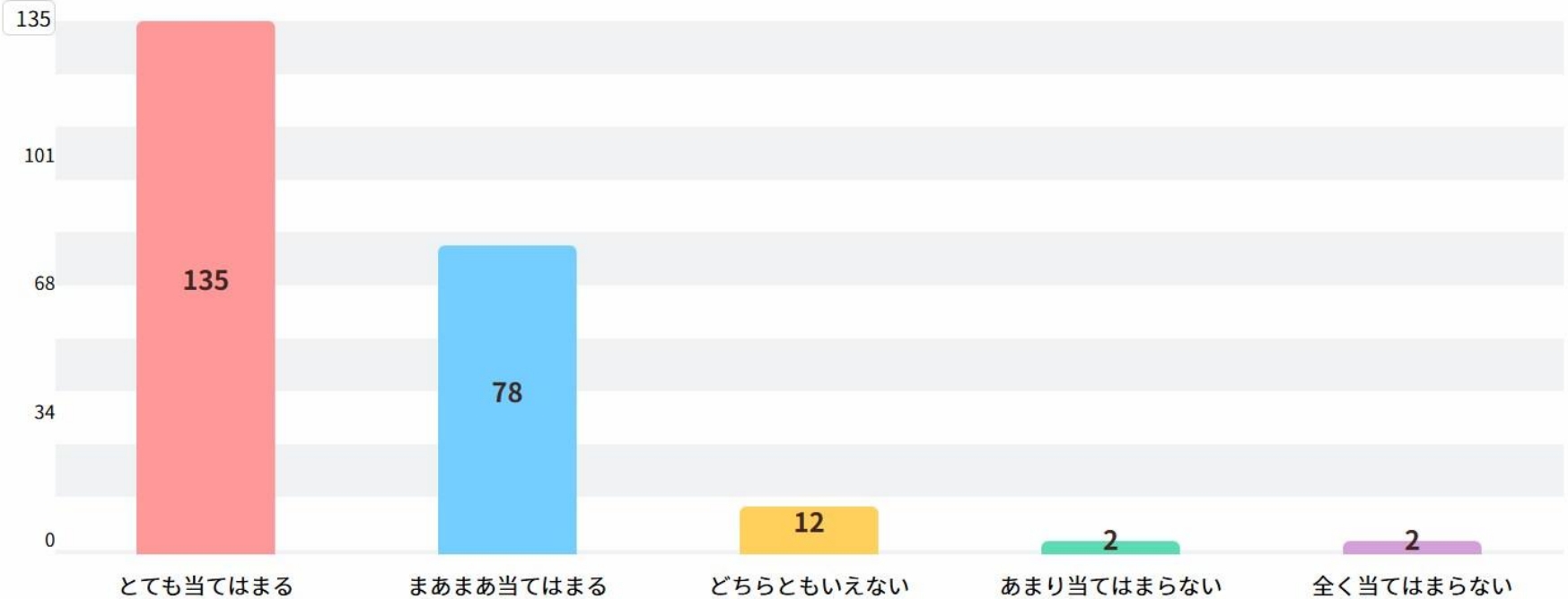


回答者数 229

生徒アンケート

Q3 ChatGPTを使用することで、自分のエラー（間違い）の傾向を把握できましたか？

棒グラフ 円グラフ

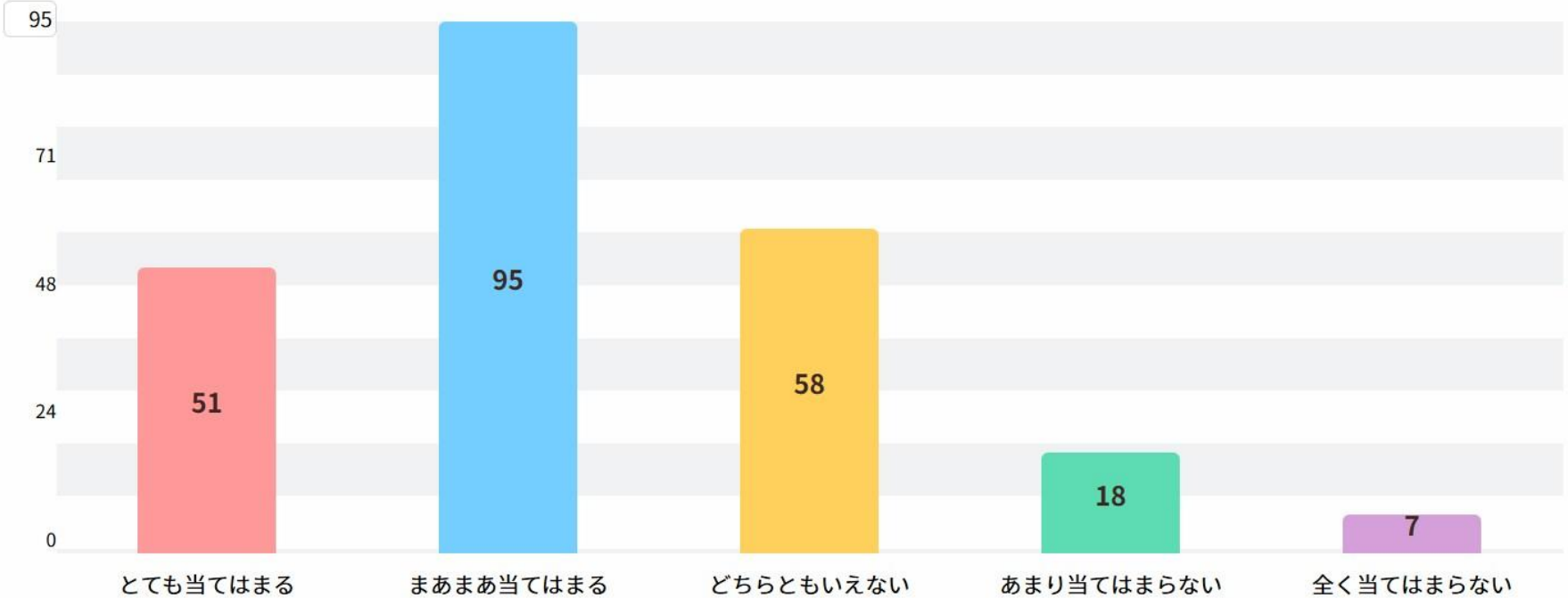


回答者数 229

生徒アンケート

Q4 ChatGPTのアドバイスは英語学習のモチベーションを上げてくれましたか？

棒グラフ 円グラフ

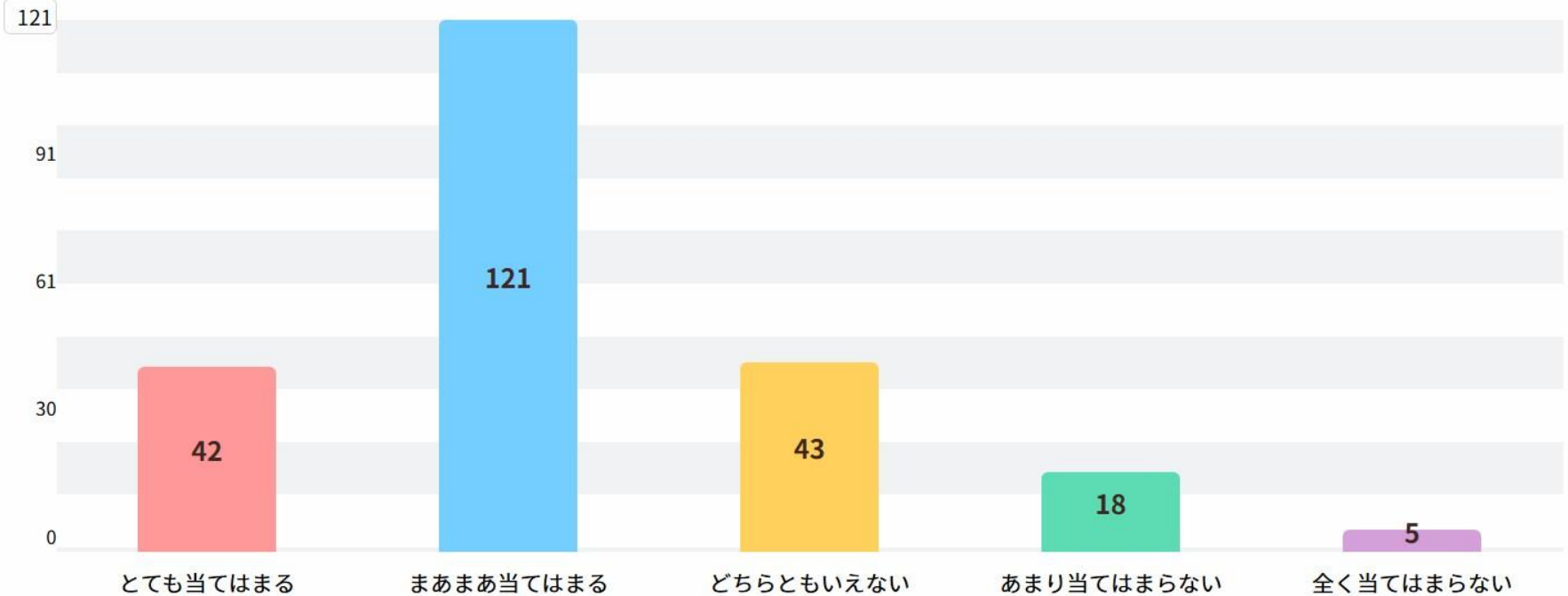


回答者数 229

生徒アンケート

Q5 この課題を通じて英文エッセイを書く力が向上したと感じますか？

棒グラフ 円グラフ

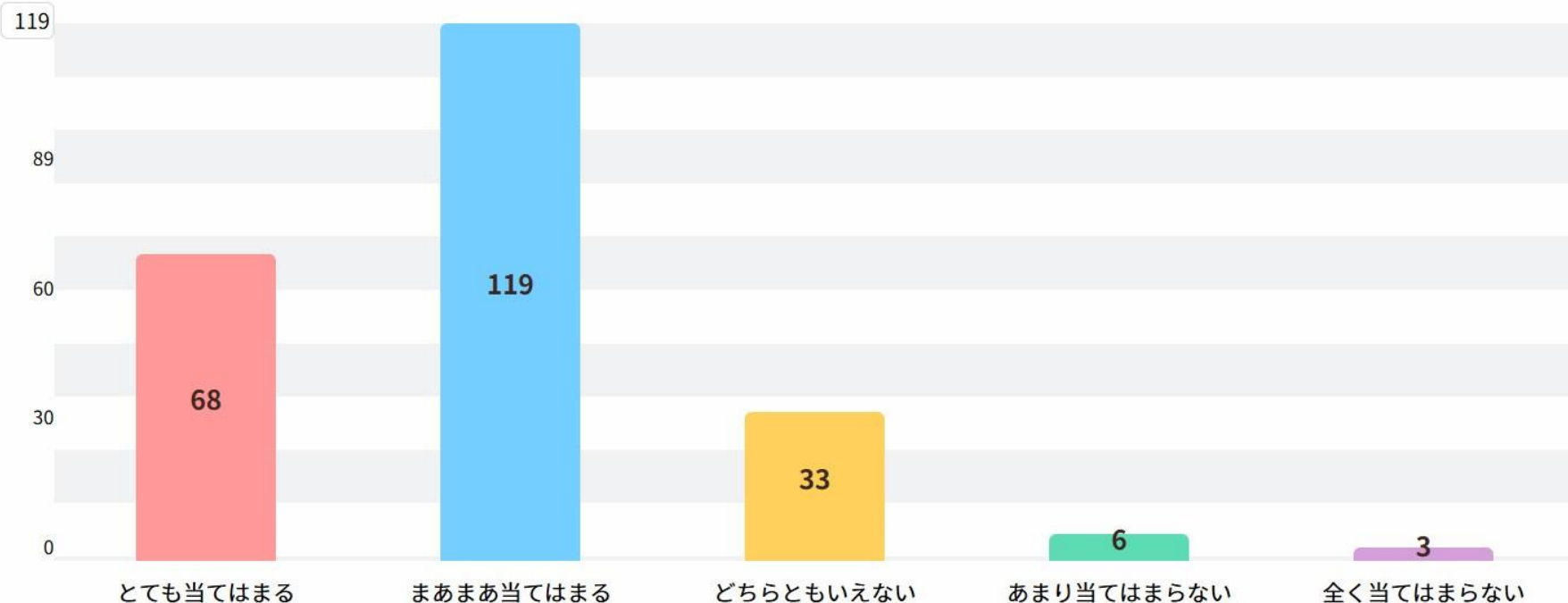


回答者数 229

生徒アンケート

Q6 今後この課題を継続していくことで、英文エッセイを書く力が向上していくと思いますか？

棒グラフ 円グラフ

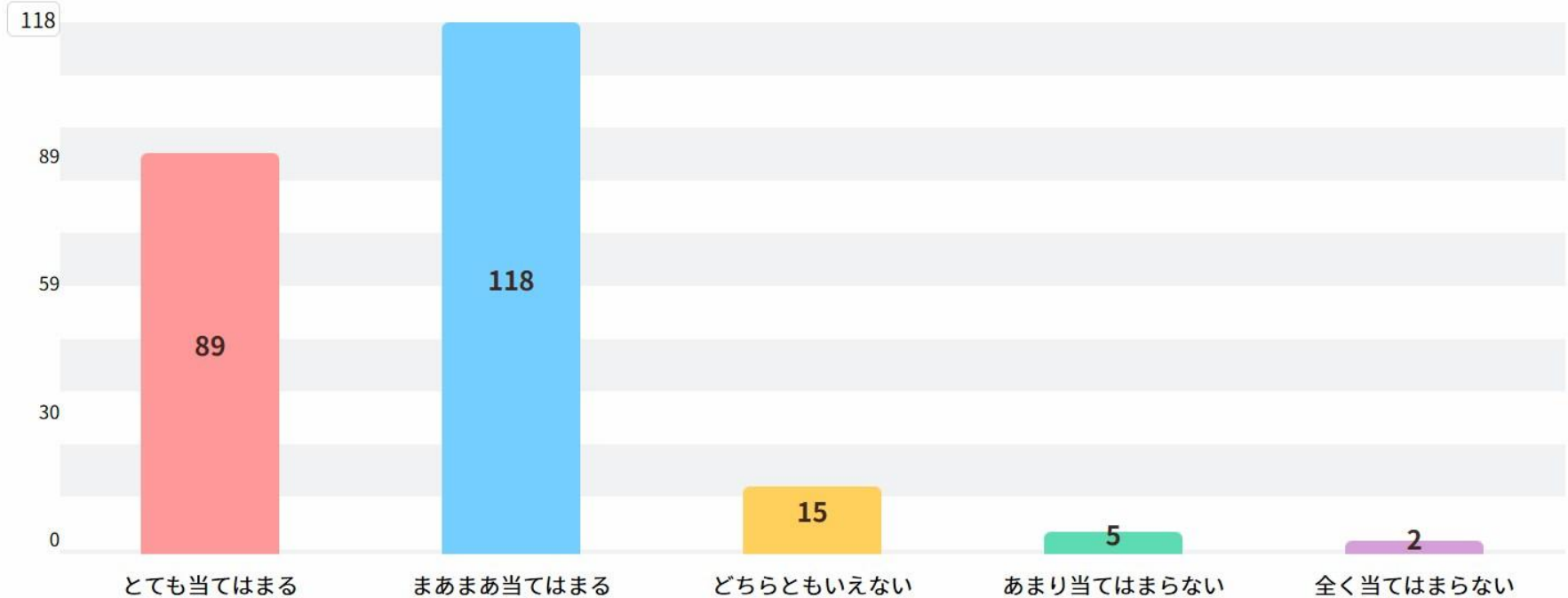


回答者数 229

生徒アンケート

Q7 この課題を通じて文法やスペルミスに対する理解が深まりましたか？

棒グラフ 円グラフ

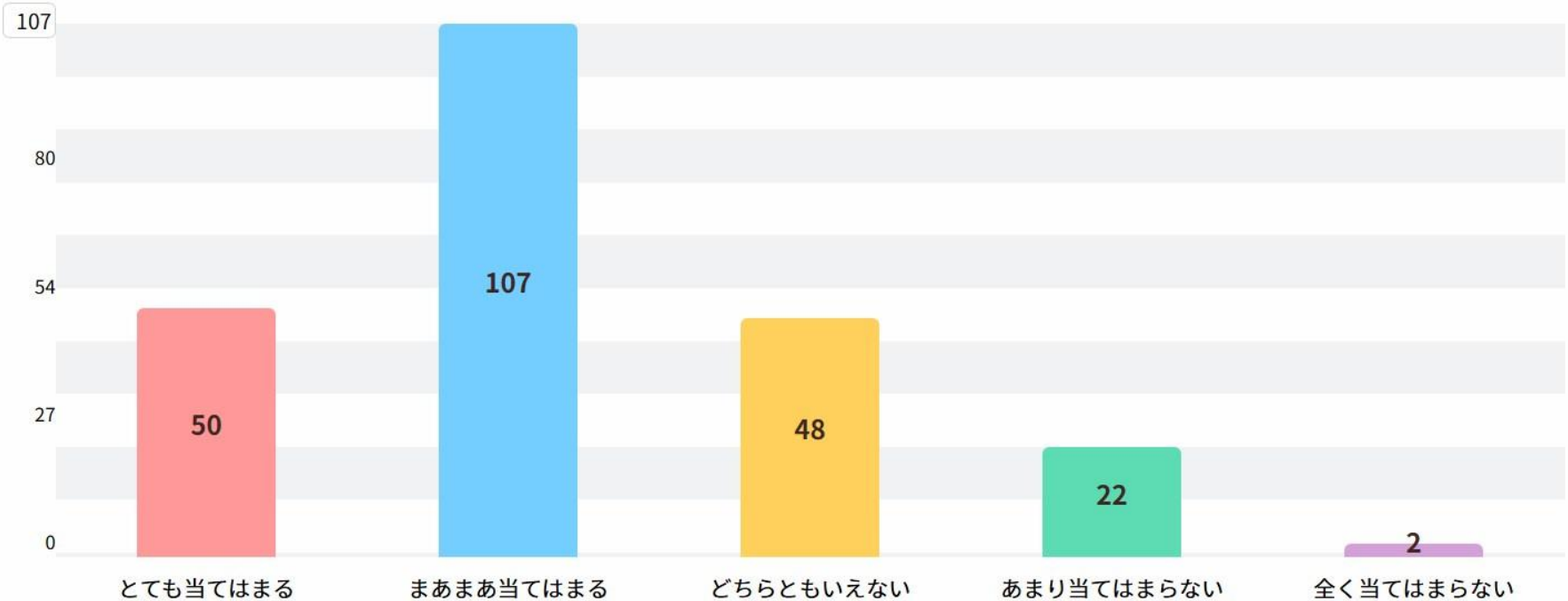


回答者数 229

生徒アンケート

Q8 この課題を通じて英文の構成（段落の構成や話の流れ）について意識が変わりましたか？

棒グラフ 円グラフ

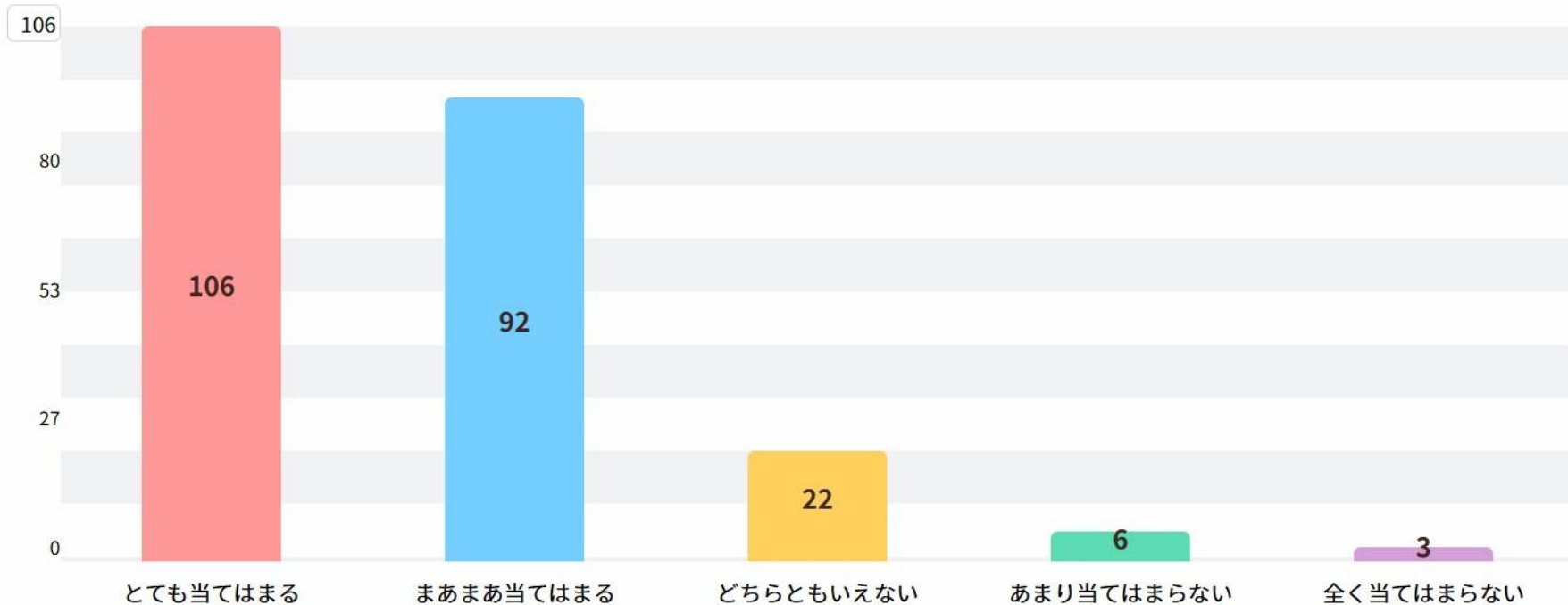


回答者数 229

生徒アンケート

Q9 この課題は英語学習に役立つと感じましたか？

棒グラフ 円グラフ

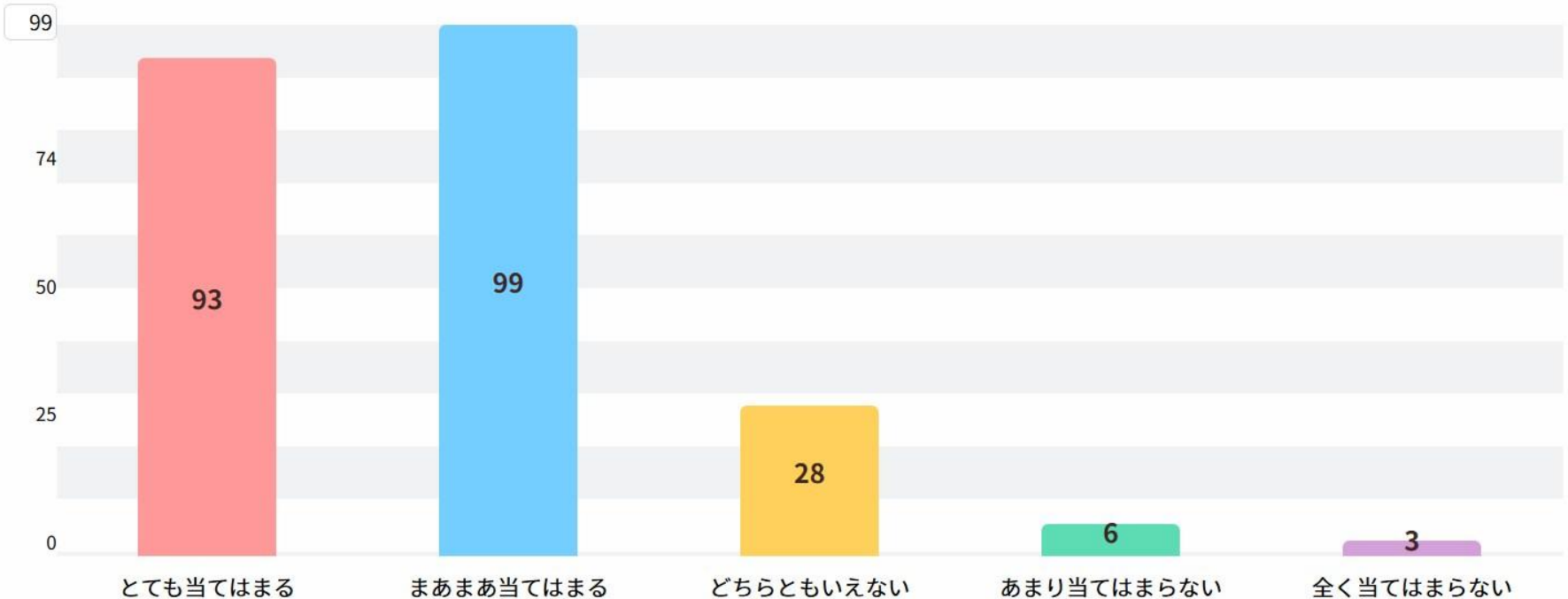


回答者数 229

生徒アンケート

Q10 課題の進め方（事前エッセイ準備 → 授業内テスト → AI添削 → 振り返り）は効果的だと思いますか？

棒グラフ 円グラフ

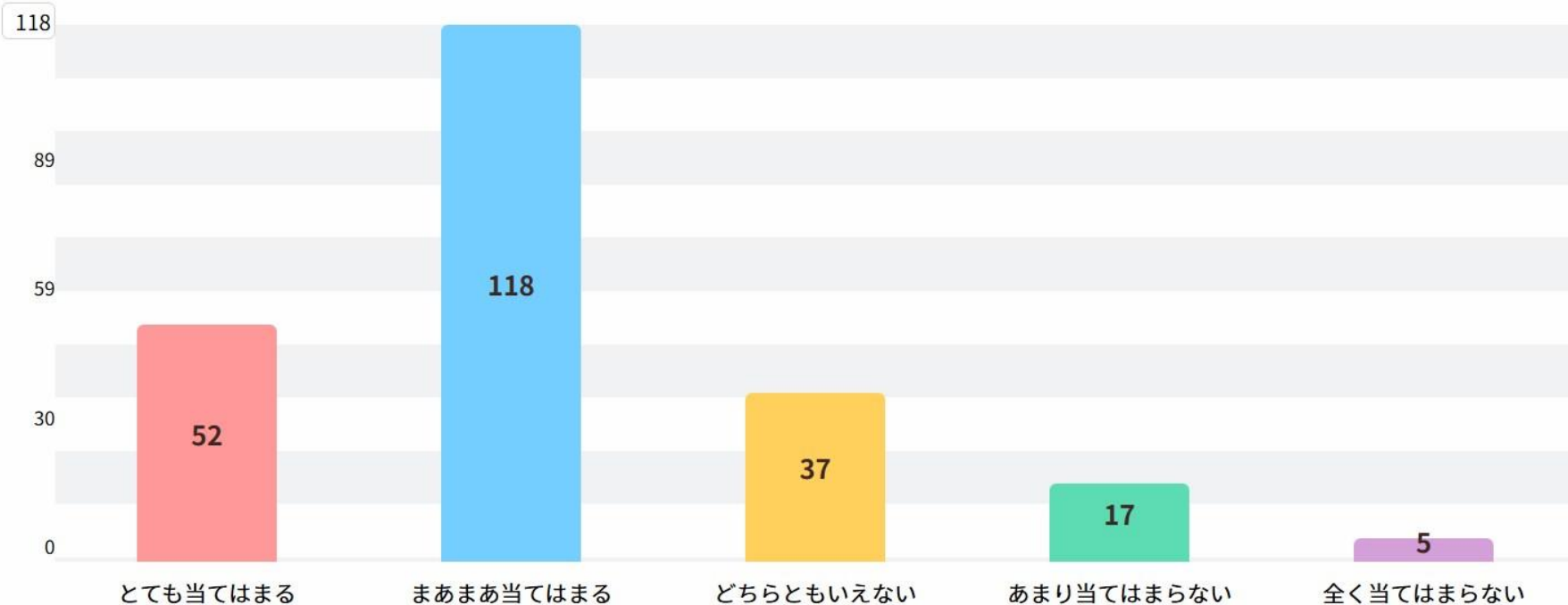


回答者数 229

生徒アンケート

Q11 事前に準備したエッセイを覚える過程で、英語力や表現力が向上したと感じますか？

棒グラフ 円グラフ

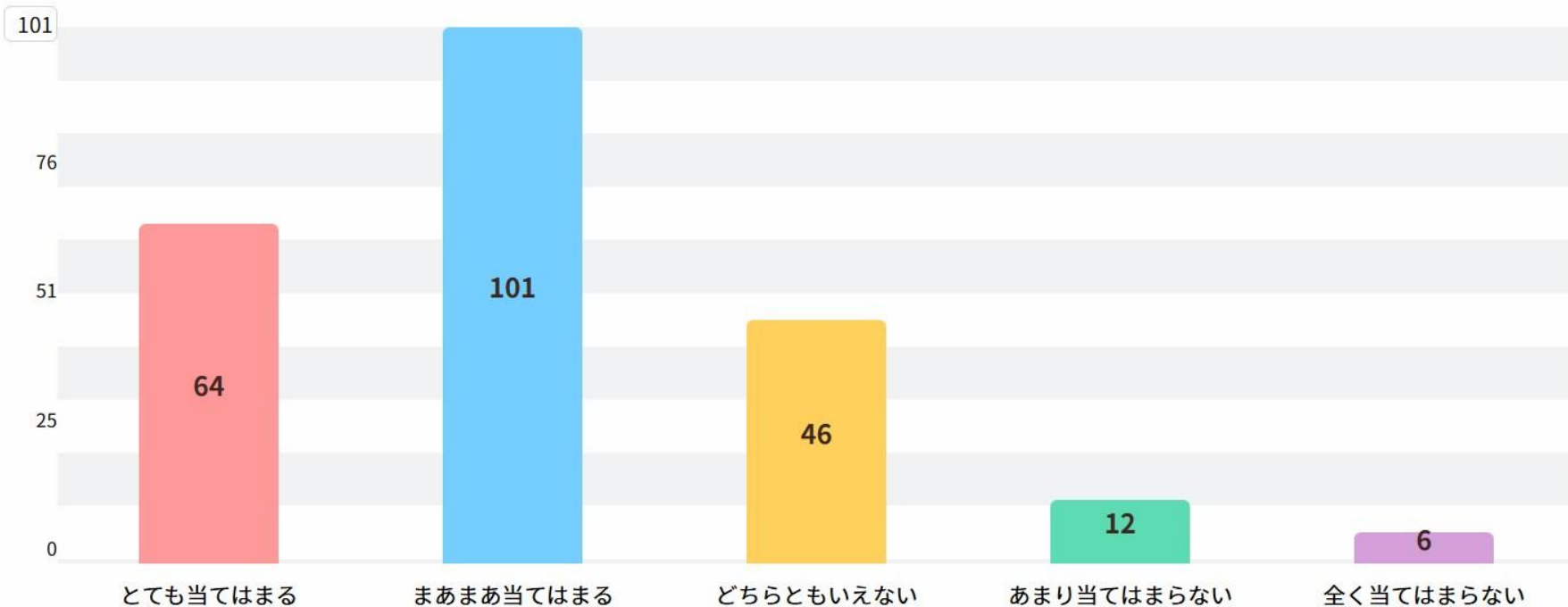


回答者数 229

生徒アンケート

Q12 「振り返りシート」を書くことで、自分の学習方法を見直すきっかけになりましたか？

棒グラフ 円グラフ

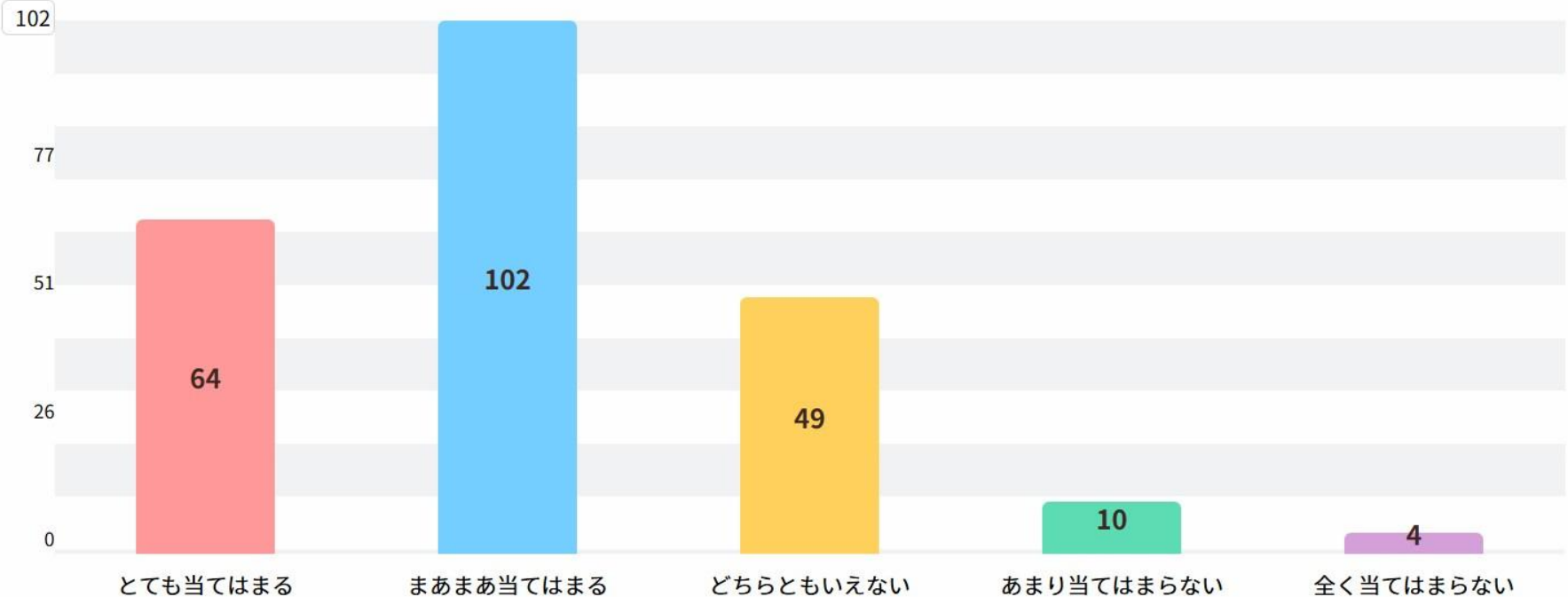


回答者数 229

生徒アンケート

Q13 自分でエッセイを準備し、ChatGPTを使って修正箇所を分析することは、自律した学びに役立ちましたか？（自律した学び＝自分で考え、改善する学びの姿勢）

棒グラフ 円グラフ

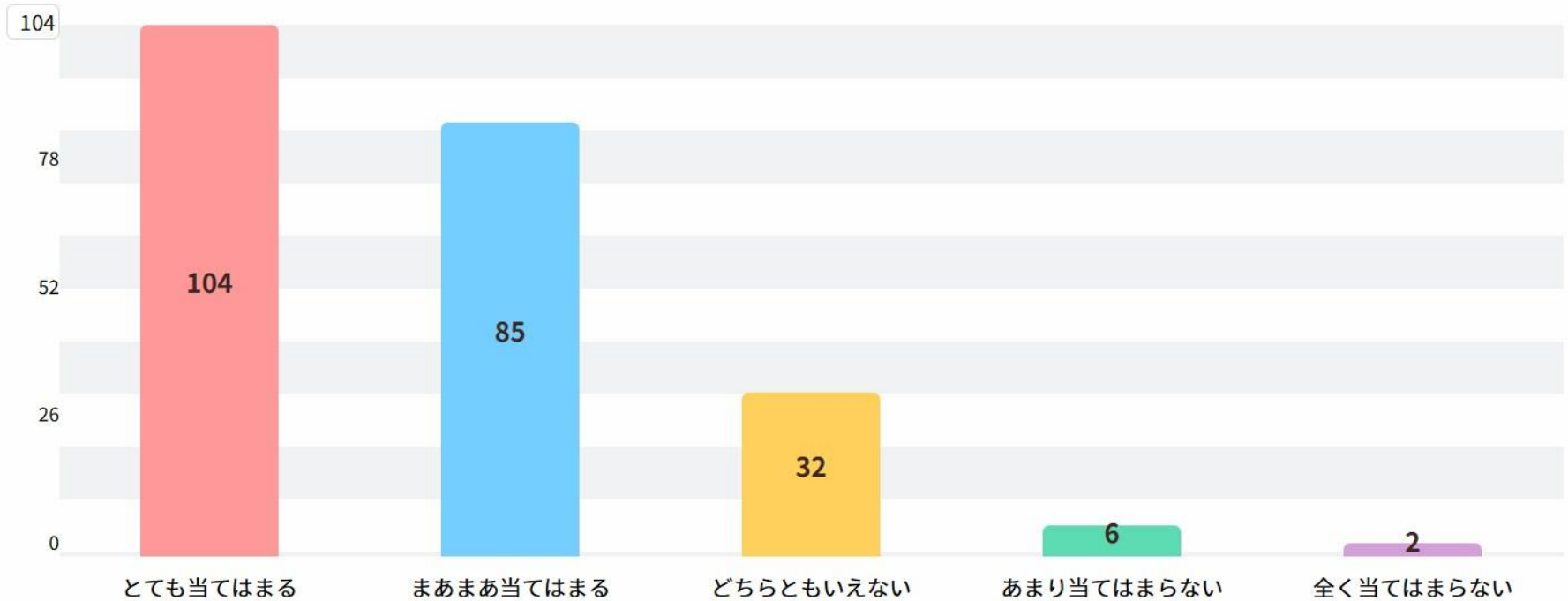


回答者数 229

生徒アンケート

Q14 今後もAIを使って自分で英作文を添削して改善していきたいと思いますか？

棒グラフ 円グラフ

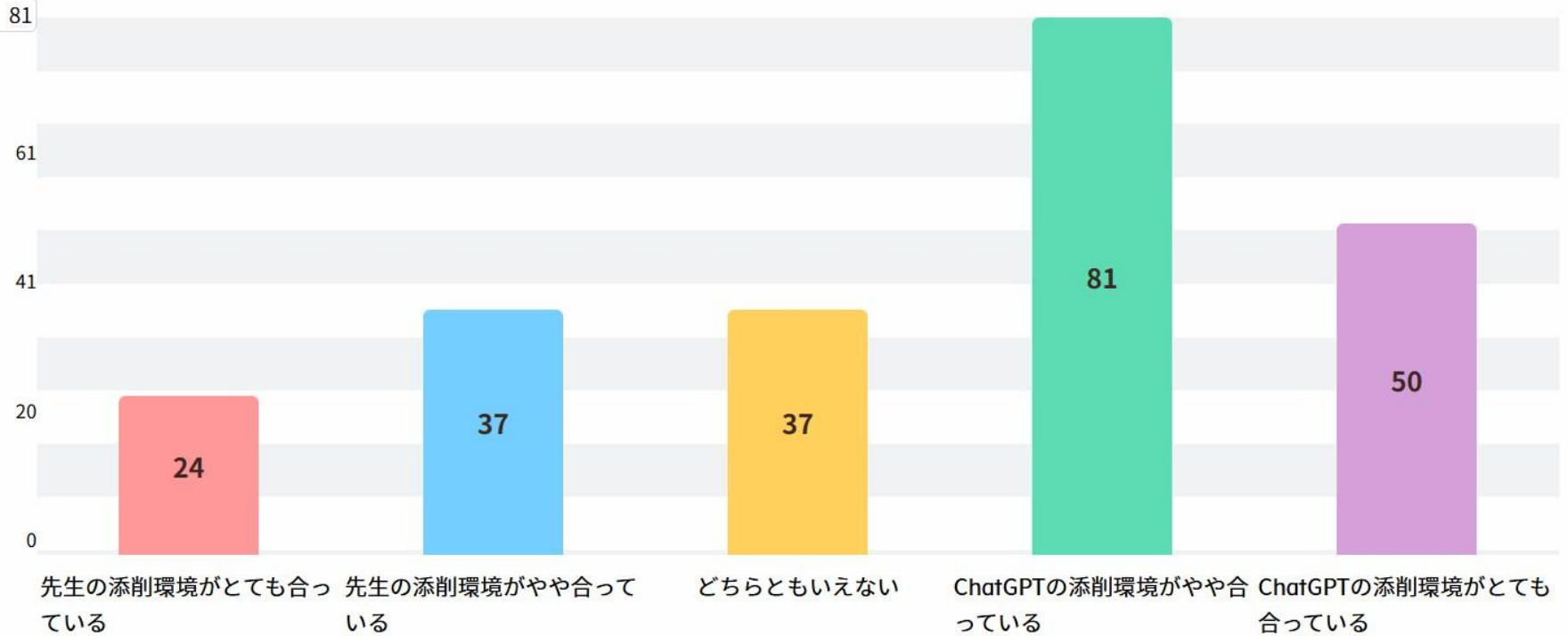


回答者数 229

生徒アンケート

Q15 「先生に時間を限定して添削してもらう環境」と「ChatGPTを使っていつでも添削できる環境」のどちらが自分に合っていると思いますか？

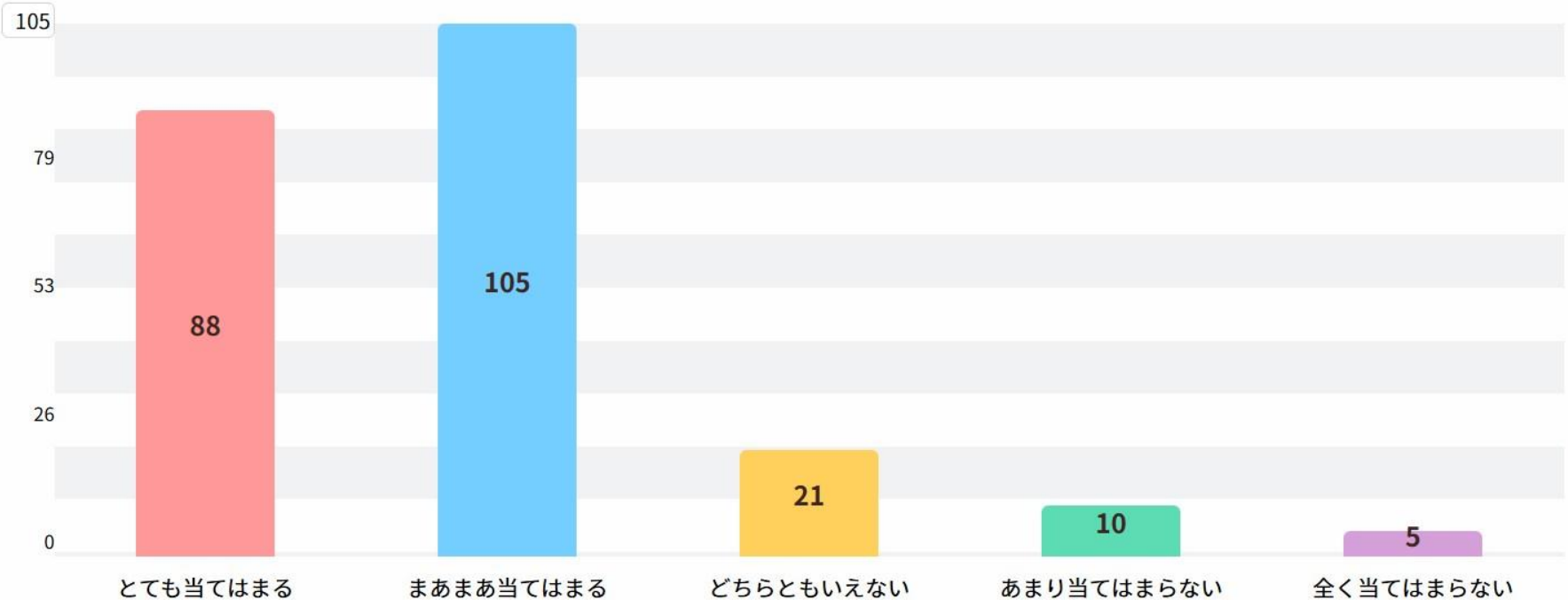
棒グラフ 円グラフ



生徒アンケート

Q16 先生が作成したロイロのカードに記載されたプロンプト(=GhatGPTへの指示の出し方)を読んで、自分がChatGPTに指示を出す際の参考になりましたか？

棒グラフ 円グラフ



回答者数 229

生徒アンケート

- AIだから質問しやすいし先生に個人で説明してもらっても分からない時があっても分かりましたとしか言いづらいけど何回でもわかるまで聞けるからとても良いし今後も活用していきたいです
- このテスト以降学習目的でChatGPTの使用率が上がった。 使い方によってはとても便利なAIだと思う。
- いつでもすぐに自分の英作文の何がいけなかったのかがわかるので他の時間を有効活用したり自分のミスに対する考えが深まったのでとても良かった。
- チャットGPTは先生というよりもお友達感覚で教えてくれて楽しかったです！すごく優しくて棘のないマシュマロ言葉で教えてくれたのでモチベーションも下がらずに勉強できました！

自己評価

点数ではなく、取り組みも含めて評価してみましょう。(十分できた できた あまりできなかった できなかった)

	論国	文国	古典	英ユヰ	論表	世界史	地理
自己評価	十分でした	十分でした	あまりではありません	でした	でした	あまりではありません	でした
良かったこと	記述の問題で正解率が高かった。	人物の深い析きが振りに下げることが出来た。	文中の助動詞はとけた。	リスニングがよく解けた。	熟語の問題でかなり点をとれた	正誤問題で自信を持って正解出来た。	いつもの白地図ワークで満点をとりあてが取れた。
改善点	現代単語を前からゴリゴリ頑張る。	本文の真意が分からない所を作らずに質問する	助動詞を絶対に覚える。	英単語を確実にする。	マークシートで正答率を上げられる基礎を固める	国と建國者の名前を一致させる	資料集の地図をちゃんと確認する。
	生物	フランス	ダイエット	保健			
自己評価	十分でした	あまりではありません	あまりではありません	あまりではありません			
良かったこと	基礎問題で点をとりよとれた	分からない所が大半だったので頑張った。	時間配分が上手にいった。全体的に意識された。	記述の問題でかなり点をとれた。			
改善点	臓器やホルモンのせまこい部分を頭にに入れておく。	文章が分からない所が多いので誰かから質問する。	リスニングの精度が不足だったため、白頭から取り直して聞く。	細かい観念や数字を正確に覚えようとする。決まらなければ覚える。			

次の目標

次のテストで〇〇点！とかではなく、志望校に合格するために何をすべきか逆算してみましょう。

例：苦手な単元を様々なパターンの問題を解いて克服する、英単語を〇〇語覚える、文章問題を1日1問 など

・ 文法問題で分からない所があるならAIや先生に聞いて、
 英作をして身につける。

・ 助動詞を覚えて活用ができるようにする。

A) - ② その他のAI活用の例

- 勉強計画を立てる
- 志望理由書を添削する

業務効率化「3つ」のアプローチ

A) 生徒を自律させる

B) 自分を効率化する

C) 環境をととのえる

B) - ① Notion 活用術



⇒ メモ・資料・タスク・データベースを一つにまとめて整理できる情報管理ツール。
同系統のツールでは世界標準になりつつある。

B) - ① Notion 活用術

- 授業記録（進度管理）
- 授業計画（教材研究）
- 英語の活動管理
- クラス管理
- 資料管理



B) - ② AIのショートカット機能

ChatGPTの場合

⇒ 「設定」

⇒ 「パーソナライズ」

⇒ 「カスタム指示」

Geminiの場合

⇒ 「パーソナライズ設定」

⇒ 「Geminiへのカスタム指示」

B) - ③ To Do アプリ活用術

To Doアプリを使うメリット

- 「思い出す」無駄を減らせる
- 脳のワーキングメモリを全て目の前の作業に使用できる
- 達成感に繋がる

B) - ④ 定期テストの作成&採点

- 「成果」を保ちつつ「作業」を減らす
- 作業は「分業制」にする
- 「百問繚乱」のマスキング機能を使う

2年2学期 中間考査解答用紙

48 回生 英コミ II 2 学期中間考査 解答用紙

2 年 組 番 氏名

知識 思考
技能 判断
表現 合計

I. ○か×を丁寧に記入 (★今回から○か×に変更) (知識・技能)

1	x	2	o	3	o	4	x	5	x	6	o	7	o	8	x
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

II. A か B か C を丁寧に記入 (知識・技能)

1	B	2	A	3	C	4	A	5	C	6	A	7	B	8	B
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

III. A か B か C を丁寧に記入 (思考・判断・表現)

1	C	2	A	3	C	4	B
---	---	---	---	---	---	---	---

IV. アイウエを丁寧に記入 (知識・技能)

1	イ	2	ア	3	エ	4	ア	5	イ	6	エ	7	イ	8	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

V. 書き出しの 1 文字も含めて記入 (知識・技能)

1	elderly	2	habitat	3	firefighter	4	deceived
---	---------	---	---------	---	-------------	---	----------

VI. 書き出しの 1 文字も含めて記入 (知識・技能)

1	news that she	2	when I	3	where we
4	Not knowing	5	to have started	6	to have made

VII. 書き出しの 1 文字も含めて記入 (知識・技能)

1	defined	2	unoccupied	3	secretly	4	bored
---	---------	---	------------	---	----------	---	-------

VIII. (知識・技能)

1	I was never well suited to studying at school
2	Not being understood, I felt sad and frustrated
3	People with this learning disability have great difficulty reading and writing

IX. 並び替えた部分のみ記入 (知識・技能)

1	It was the problem that many passengers were complaining
2	roughly 88 percent of passenger time was spent just standing around
3	The airport decided on a new approach

X. (思考・判断・表現)

1	had	2	which	3	way	4	whole
---	-----	---	-------	---	-----	---	-------

XI. ※順序不同 どの解答欄に答えを書いても正解になります (思考・判断・表現)

1	in	2	when	3	longer
---	----	---	------	---	--------

XII. (思考・判断・表現)

1	Where may wait times be deliberately overestimated?
2	What are[is] strongly influenced by the final moments?
3	What have researchers also found?

XIII. ※書ききれなければ 2 行になってもよい (思考・判断・表現)

1	I seem to have had one misfortune after another. First I got fired, and then I lost my home.
2	For the first few months, I spent nights at Internet Cafes or fast-food restaurants. Naturally, I soon ran out of money.
3	During the day time, I take naps in public libraries or parks. At night, I go from convenience stores to rental video shops.
4	It[The Big Issue] is a magazine that helps support the independence of homeless people.

XIV. (思考・判断・表現)

※解答は枠の中に丁寧に記入し、訂正する場合は消しゴムで完全に消すこと。
※特に記号問題と単語問題は AI 採点になるので、判別しにくい文字を書かないこと。

2年2学期 期末考査解答用紙

48 回生 英コミ II 2 学期期末考査 解答用紙

2 年 組 番 氏名

知識技能 思考判断表現 合計

I. ○か×を丁寧に記入 (★今回から○か×に変更) (知識・技能)

1	○	2	○	3	×	4	×	5	○	6	×	7	○	8	×
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

II. A か B か C を丁寧に記入 (知識・技能)

1	B	2	A	3	C	4	B	5	B	6	A	7	C	8	B
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

III. A か B か C を丁寧に記入 (思考・判断・表現)

1	B	2	A	3	C	4	B
---	---	---	---	---	---	---	---

IV. アイウエを丁寧に記入 (知識・技能)

1	エ	2	ウ	3	エ	4	ア	5	ウ	6	ア	7	イ	8	ア
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

V. 書き出しの 1 文字も含めて記入 (知識・技能)

1	fatigue	2	bilingual	3	enemy	4	childhood
---	---------	---	-----------	---	-------	---	-----------

VI. 書き出しの 1 文字も含めて記入 (知識・技能)

1	not always	2	not necessarily	3	were to call
4	with my eyes closed	5	Seen from	6	Not known

VII. 書き出しの 1 文字も含めて記入 (知識・技能)

1	structure	2	reproduce	3	effective	4	invade
---	-----------	---	-----------	---	-----------	---	--------

VIII. (知識・技能)

1	influenza is more infectious than the common cold
2	with your hands unwashed
3	This helps the body build up its immune system

IX. 並び替えた部分のみ記入 (知識・技能)

1	if a massive disaster were to happen
2	Looking around carefully, you will notice
3	He will continue proceeding along his chosen path

X. (思考・判断・表現)

1	to	2	always	3	freezing	4	machines
---	----	---	--------	---	----------	---	----------

XI. ※順不同 どの解答欄に答えを書いても正解になります (思考・判断・表現)

1	small	2	immune	3	Exposed
---	-------	---	--------	---	---------

XII. (思考・判断・表現)

1	When did the Great Hanshin-Awaji Earthquake hit Kobe City?
2	Why did Ban and other volunteers work together?
3	Where did many people come to talk and pray?

XIII. ※書ききれなければ 2 行になってもよい (思考・判断・表現)

1	Edward Jenner was a British doctor and is famous as the pioneer of the smallpox vaccine.
2	In Jenner's time, it was commonly known that people who had had cowpox were immune to smallpox.
3	He put pus into the arm of an eight-year-old boy (who was son of his gardener). Infected with the virus, the boy became mildly ill, but he soon recovered.
4	Jenner's discoveries and work as a doctor led to the development of modern smallpox vaccines. Smallpox was finally eradicated worldwide in 1980.

XIV. (思考・判断・表現)

イ

※解答は枠の中に丁寧に記入し、訂正する場合は消しゴムで完全に消すこと。

※特に記号問題と単語問題は AI 採点になるので、判別しにくい文字を書かないこと。

教員で作業を分担する

48回生 英コミII 2学期期末考査 解答用紙

2年 組 番 氏名

知識技能 思考判断表現 合計

I. ○か×を丁寧に記入 (★今回から○か×に変更) (知識・技能)															
1	○	2	○	3	×	4	×	5	○	6	×	7	○	8	×
II. AかBかCを丁寧に記入 (知識・技能)															
1	B	2	A	3	C	4	B	5	B	6	A	7	C	8	B
III. AかBかCを丁寧に記入 (思考・判断・表現)															
1	B	2	A	3	C	4	B								
IV. アイウエを丁寧に記入 (知識・技能)															
1	エ	2	ウ	3	エ	4	ア	5	ウ	6	ア	7	イ	8	ア
V. 書き出しの1文字も含めて記入 (知識・技能)															
1	fatigue	2	bilingual	3	enemy	4	childhood								
VI. 書き出しの1文字も含めて記入 (知識・技能)															
1	not always	2	not necessarily	3	were to call										
4	with my eyes closed	5	Seen from	6	Not known										
VII. 書き出しの1文字も含めて記入 (知識・技能)															
1	structure	2	reproduce	3	effective	4	invade								

VIII. (知識・技能)							
1	influenza is more infectious than the common cold						
2	with your hands unwashed B						
3	This helps the body build up its immune system						

IX. 並び替えた部分のみ記入 (知識・技能)			
1	if a massive disaster were to happen B		
2	Looking around carefully and will notice		
3	He will continue proceeding along his chosen path		

X. (思考・判断・表現)							
1	to	2	always	3	freezing	4	machines
XI. ※順不同 どの解答も正解を書いても正解になります (思考・判断・表現)							
1	small	2	immune	3	Exposed		

XII. (思考・判断・表現)	
1	When did the Great Hanshin-Awaji Earthquake hit Kobe City?
2	Why did Ban and other volunteers work together? B
3	Where did many people come to talk and pray?

XIII. ※書ききれなければ2行になってもよい (思考・判断・表現)	
1	Edward Jenner was a British doctor and is famous as the pioneer of the smallpox vaccine.
2	In Jenner's time, it was commonly known that people who had had cowpox were immune to smallpox.
3	He put pus into the arm of an eight-year-old boy (who was son of his gardener). Infected with the virus, the boy became mildly ill, but he soon recovered. C
4	Jenner's discoveries and work as a doctor led to the development of modern smallpox vaccines. Smallpox was finally eradicated worldwide in 1980.

XIV. (思考・判断・表現)	
イ	A

※解答は枠の中に丁寧に記入し、訂正する場合は消しゴムで完全に消すこと。
 ※特に記号問題と単語問題はAI採点になるので、判別しにくい文字を書かないこと。

英コミ II 2学期中間 定期考査の講評

① 「リスニング問題」

内容は比較的分かりやすかったのか、平均正答率はかなり高かった。(大問 I IIともに70%を超える正答率)教科書の内容を理解していることに加えて、48回生は全体的に英語の耳がかなりできてきたように思う。大問IIIの4は35%と低かったので、「複数の情報を統合して答えるような問題」に対してはまだ対応できる人が少ないようだ。

② 大問V「Stock 単語スペルチェック」

(1)fatigue(5%) (2)bilingual(10%) (4)childhood(25%)。スペルについては「この程度は書けてほしい」というものを厳選している。認識語彙(読めれば良い単語)は書けなくてもよいが、運用語彙は書けるようにしておこう。

③ 大問VI「文法理解」

(2)の「not necessarily」の正答率が低い。「必ずしも～とは限らない」という部分否定での頻出表現なので、スペルとともに押さえておこう(特に necessarily のスペルが難しい)。

(5)の「Seen from」も悪かった。受け身の分詞構文も受験頻出なので、しっかり復習すること。

④ 大問VIII「英作文」

(1) influenza の i が I はマイナス1点。infectious のスペルミスが多い。新出単語は全てスペルも合わせて練習しておく。完全な○は各クラスで1人いるかいなか。

(3) help O do や build up や immune system など重要表現が多い英文で、正答率は9%。新出表現が含まれている英文は集中的に出題するので(定着してほしいから)、テスト勉強や普段の復習でかならず全て確認しておくこと。

⑤ 大問IX「並べ替え問題」

1) クラス半分ほど○。ただし頭文字が大文字になってるものは-1点

2) けっこうできていたが、文が小文字になっていて-1点が多い。

3) あまりできていない。continue ~ing「～し続ける」や、過去分詞 chosen の位置間違いが多い。

⑥ 大問XI「まちがい探し」

(1) small は文脈が理解できている人が多く比較的よくできていた。

(2) immune はまあまあできている。

(3) Exposed は受け身の分詞構文だった。Gがついている新出文法は同じレッスンで複数回使われることが多い教科書なので、他の英文でも同じ文法がでていないか、本文解析(ロイロ配布済み)を見て確認しておくこと。

業務効率化「3つ」のアプローチ

A) 生徒を自律させる

B) 自分を効率化する

C) 環境をととのえる

C) - ① 「紙」を減らす

- 単語テスト「mikan」
- 構文テスト「森のテスト」
- 資料共有「ロイロノート」

※Google Form等は単発なら良いが、継続的にやるには専用サービスより手間がかかるので非推奨

C) - ② 指導をアウトソーシング

- 音読指導 「リピートーク」
- ライティング指導
「スマートコレクション」
- スピーキング指導
「スピーキングプラス」

ところで、お金は・・・？

- mikan ⇒約 3,600 円
- 森のテスト ⇒約 700 円
- リピートーク ⇒約 3,300 円
- スマコレ(5回) ⇒約 2,300 円
- スピプラ(5回) ⇒約 4,400 円

合計 14,300 円

大事なものは、

価格じゃなくて**価値**

C) - ③ 電話連絡を減らす



欠席・遅刻管理

+ 欠席・遅刻登録

条件を入力して検索してください。

日付 本日分 日付指定 ~

種別 更新履歴を表示する

名前

ユーザ番号

学年 クラス グループ

表示順 登録順 クラス順

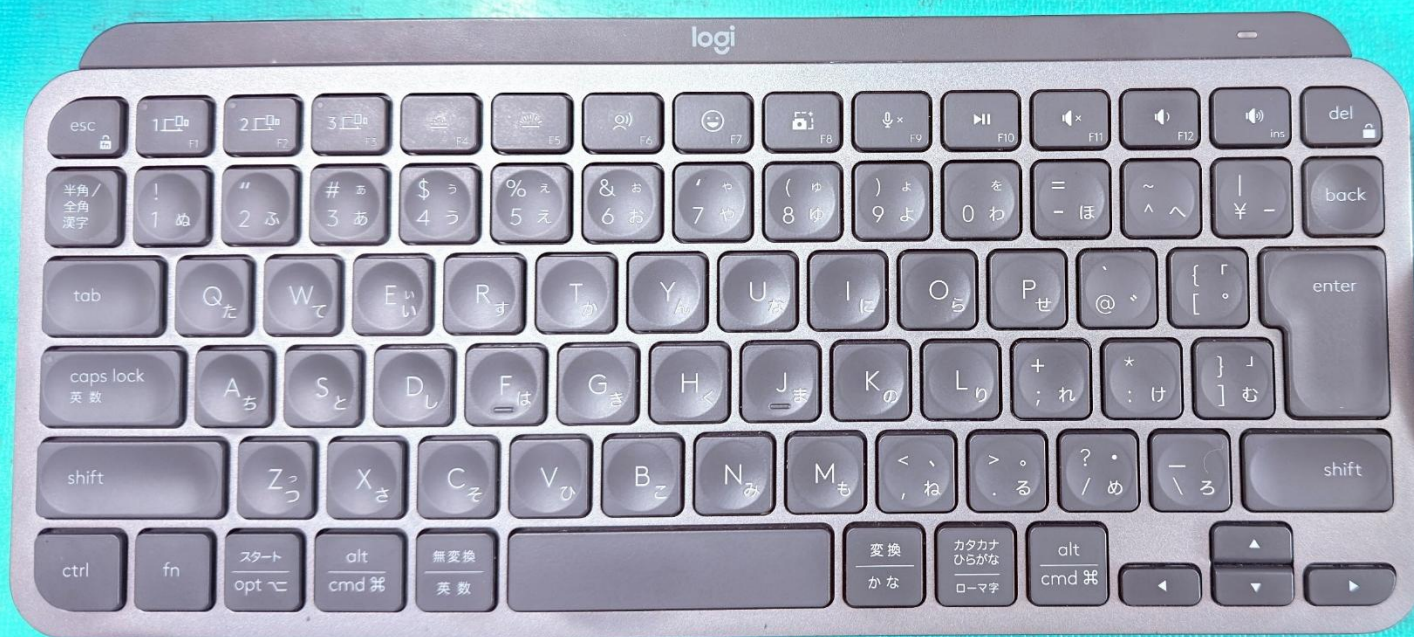
 検索

番外編

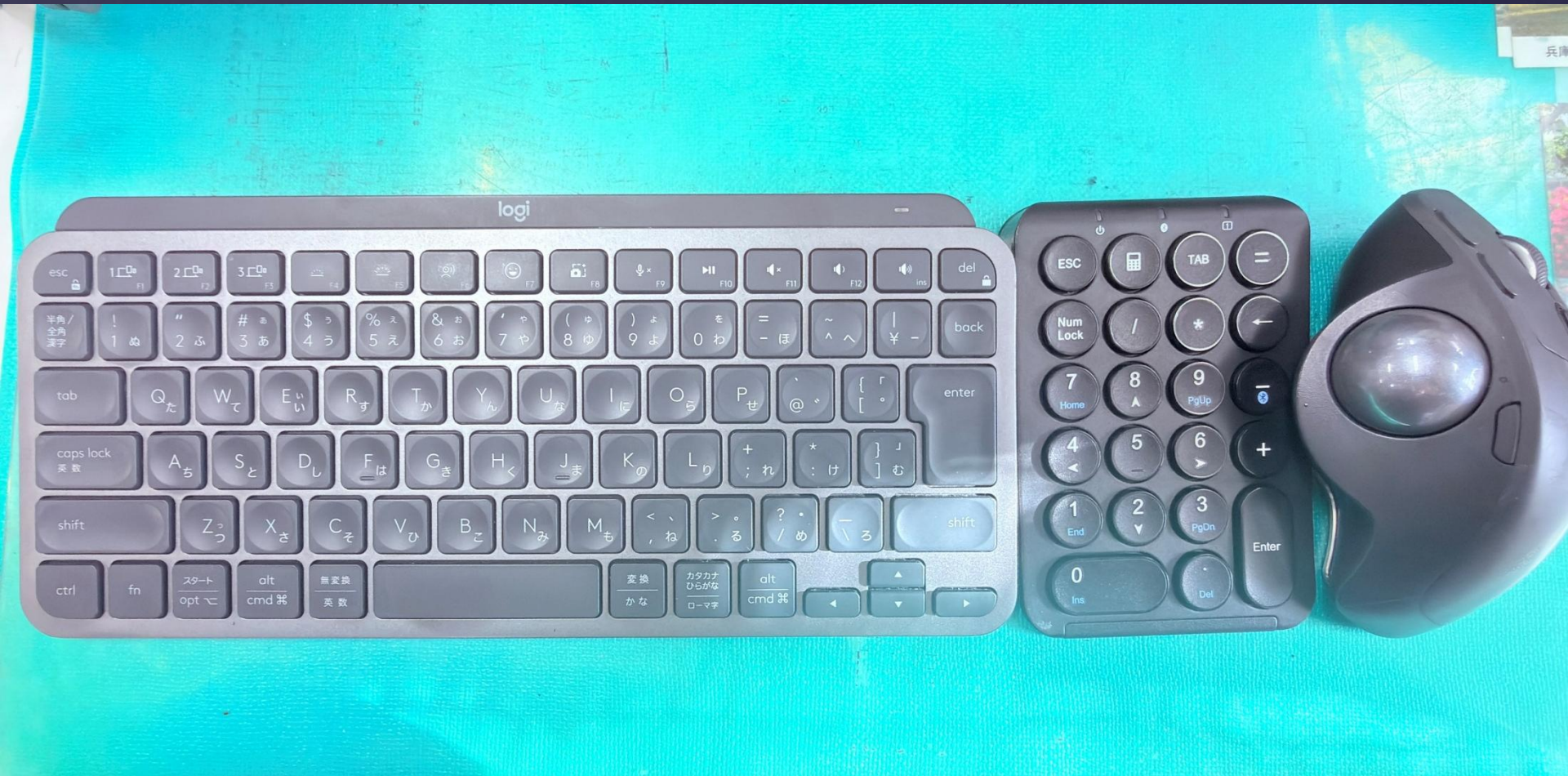
～1分、2分を削りだす～

- A) マルチディスプレイ
- B) テンキーレスキーボード
- C) 覚えるべきショートカット

キーボードはテンキーレスにする



テンキーは使う時だけ出す



覚えるべきキーボードショートカット

基本的人権レベル

- Ctrl + C コピー
- Ctrl + V 貼り付け
- Ctrl + X 切り取り
- Ctrl + Z 直前の動作の取り消し
- Ctrl + Y やり直し (Ctrl + Zで取り消した操作をもう一度実行して元に戻す)

使えたと業務効率化に有効

- Ctrl + B Wordで文字を太字にできる
- Ctrl + I Wordで文字をイタリック(斜め)にできる
- Ctrl + U Wordで文字の下にアンダーラインを引ける
- Ctrl + Shift + > / < Wordでフォントサイズの変更ができる。必須
- Ctrl + P 印刷時に一気に印刷画面に飛べる
- Ctrl + F ExcelやWordでキーワード検索をするときに必須 (生徒名など)
- Ctrl + S 上書き保存
- F12 名前を付けて保存。試しに使ってみてください。神が降臨します
- F2 ファイルの名前変更
- Win + Tab タスクビュー表示。開いているアプリを一覧表示
- Win + D アプリを全て最小化してデスクトップを表示
- Win + ↑ / → / ← / ↓ ウィンドウの移動
- Ctrl + マウスホイール ズーム (拡大/縮小)。ブラウザ、Word、Excel等

おわりに

- 業務効率化は生徒のため
- 業務効率化は自分のため